

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年11月24日
【発行者名】	エネクス・インフラ投資法人
【代表者の役職氏名】	執行役員 松塚 啓一
【本店の所在の場所】	東京都千代田区霞が関三丁目2番5号
【事務連絡者氏名】	エネクス・アセットマネジメント株式会社 取締役兼財務経理部長 日置 敬介
【電話番号】	03-4233-8330
【届出の対象とした募集（売出） 内国投資証券に係る投資法人の 名称】	エネクス・インフラ投資法人
【届出の対象とした募集（売出） 内国投資証券の形態及び金額】	形態：投資証券 発行価額の総額：一般募集 17,794,873,560円 売出価額の総額：オーバーアロットメントによる売出し 1,083,537,000円 (注) 今回の一般募集の方法は、引受人が発行価額にて買取引受けを行い、 当該発行価額と異なる価額（発行価格）で一般募集を行うため、一般 募集における発行価格の総額は、上記の金額とは異なります。
安定操作に関する事項	1. 今回の募集及び売出しに伴い、本投資法人の発行する上場投資 口について、市場価格の動向に応じ必要があるときは、金融商 品取引法施行令第20条第1項に規定する安定操作取引が行われ る場合があります。 2. 上記の場合に安定操作取引が行われる取引所金融商品市場を開 設する金融商品取引所は、株式会社東京証券取引所です。
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2020年11月10日提出の有価証券届出書（同月11日付をもって提出した有価証券届出書の訂正届出書により訂正済み）の記載事項のうち、2020年11月24日開催の本投資法人役員会において、発行価格及び売出価格等が決定されましたので、これらに関連する事項を訂正するため、本有価証券届出書の訂正届出書を提出するものです。

2【訂正事項】

第一部 証券情報

第1 内国投資証券（新投資口予約権証券及び投資法人債券を除く。）

1 募集内国投資証券（引受人の買取引受けによる国内一般募集）

- (3) 発行数
- (4) 発行価額の総額
- (5) 発行価格
- (13) 引受け等の概要
- (15) 手取金の使途

2 売出内国投資証券（オーバーアロットメントによる売出し）

- (3) 売出数
- (4) 売出価額の総額
- (5) 売出価格

第5 募集又は売出しに関する特別記載事項

1 本邦以外の地域における発行

- (2) 海外募集の概要
 - ② 海外募集における発行数（海外募集口数）
 - ③ 海外募集における発行価格
 - ④ 海外募集における発行価額の総額

2 オーバーアロットメントによる売出し等について

3【訂正箇所】

訂正箇所は、_____ 野で示してあります。

なお、発行価格等決定日が2020年11月24日（火）となりましたので、国内一般募集の申込期間は「2020年11月25日（水）から2020年11月26日（木）まで」、オーバーアロットメントによる売出しの申込期間は「2020年11月25日（水）から2020年11月26日（木）まで」、シンジケートカバー取引期間は「2020年11月27日（金）から2020年12月21日（月）までの間」となります。

第一部【証券情報】

第1【内国投資証券（新投資口予約権証券及び投資法人債券を除く。）】

1【募集内国投資証券（引受人の買取引受けによる国内一般募集）】

（3）【発行数】

<訂正前>

220,050口

(注1) 2020年11月10日（火）開催の役員会において決議された公募による新投資口発行に係る募集（以下「国内一般募集」といいます。）及び後記(注2)に記載のオーバーアロットメントによる売出しと同時に、欧州及びアジアを中心とする海外市場（ただし、米国及びカナダを除きます。）における募集（以下「海外募集」といいます。）が行われます。

国内一般募集及び海外募集（以下、併せて「本募集」といいます。）の総発行数は245,000口であり、国内一般募集における発行数（以下「国内募集口数」といいます。）は220,050口を目途とし、海外募集における発行数（以下「海外募集口数」といいます。）は24,950口を目途として募集を行いますが、その最終的な内訳は、需要状況等を勘案した上で、後記「(13) 引受け等の概要」に記載の発行価格等決定日に決定されます。

海外募集の内容については、後記「第5 募集又は売出しに関する特別記載事項 1 本邦以外の地域における発行」をご参照ください。

(注2) 国内一般募集に当たり、その需要状況等を勘案した上で、国内一般募集とは別に、国内一般募集の事務主幹事会社であるSMB C日興証券株式会社が、伊藤忠エネクス株式会社（以下「伊藤忠エネクス」といいます。）と、三井住友信託銀行株式会社（以下「三井住友信託銀行」といいます。）及び株式会社マーキュリアインベストメント（以下「マーキュリアインベストメント」といいます。）からそれぞれ、8,286口、2,899口及び1,065口を上限として借り入れる本投資口（ただし、かかる貸借は、後記「(16) その他 ⑥」に記載のとおり、国内一般募集の対象となる本投資口のうち、5,916口及び1,834口が各指定先（後記「(16) その他 ⑥」に定義します。）にそれぞれ販売されることを条件とします。（以下「借入投資口」といいます。）の日本国内における売出し（以下「オーバーアロットメントによる売出し」といいます。）を行う場合があります。

オーバーアロットメントによる売出しに関連する事項については、後記「第5 募集又は売出しに関する特別記載事項 2 オーバーアロットメントによる売出し等について」をご参照ください。

（後略）

<訂正後>

211,170口

(注1) 2020年11月10日（火）開催の役員会において決議された公募による新投資口発行に係る募集（以下「国内一般募集」といいます。）及び後記(注2)に記載のオーバーアロットメントによる売出しと同時に、欧州及びアジアを中心とする海外市場（ただし、米国及びカナダを除きます。）における募集（以下「海外募集」といいます。）が行われます。

国内一般募集及び海外募集（以下、併せて「本募集」といいます。）の総発行数は245,000口であり、その内訳は国内一般募集における発行数（以下「国内募集口数」といいます。）211,170口及び海外募集における発行数（以下「海外募集口数」といいます。）33,830口です。

海外募集の内容については、後記「第5 募集又は売出しに関する特別記載事項 1 本邦以外の地域における発行」をご参照ください。

(注2) 国内一般募集に当たり、その需要状況等を勘案した結果、国内一般募集とは別に、国内一般募集の事務主幹事会社であるSMB C日興証券株式会社が、伊藤忠エネクス株式会社（以下「伊藤忠エネクス」といいます。）と、三井住友信託銀行株式会社（以下「三井住友信託銀行」といいます。）及び株式会社マーキュリアインベストメント（以下「マーキュリアインベストメント」といいます。）からそれぞれ借り入れる本投資口8,286口、2,899口及び1,065口（以下「借入投資口」といいます。）の日本国内における売出し（以下「オーバーアロットメントによる売出し」といいます。）を行います。

オーバーアロットメントによる売出しに関連する事項については、後記「第5 募集又は売出しに関する特別記載事項 2 オーバーアロットメントによる売出し等について」をご参照ください。

（後略）

（4）【発行価額の総額】

<訂正前>

20,406,000,000円

(注) 後記「(13) 引受け等の概要」に記載のとおり、発行価額の総額は、後記「(13) 引受け等の概要」に記載の引受人（以下「引受人」といいます。）の買取引受けによる払込金額の総額です。発行価額の総額は、2020年10月28日（水）現在の株式会社東京証券取引所における本投資口の普通取引の終値を基準として算出した見込額です。

<訂正後>

17,794,873,560円

(注) 後記「(13) 引受け等の概要」に記載のとおり、発行価額の総額は、後記「(13) 引受け等の概要」に記載の引受人（以下「引受人」といいます。）の買取引受けによる払込金額の総額です。

（５）【発行価格】

＜訂正前＞

未定

- (注1) 発行価格等決定日（後記「(13) 引受け等の概要」に定義します。以下同じです。）の株式会社東京証券取引所における本投資口の普通取引の終値（当日に終値のない場合には、その日に先立つ直近日の終値）から第3期（2020年11月期）に係る1口当たりの予想分配金（予想利益超過分配金は含みません。）2,341円及び予想利益超過分配金3,659円を控除した金額に0.90～1.00を乗じた価格（1円未満切捨て）を仮条件として需要状況等を勘案した上で決定します。
今後、発行価格等（発行価格、発行価額、各引受人の引受投資口数、売価及び引受人の手取金をいいます。以下同じです。）が決定された場合には、発行価格等及び発行価格等の決定に伴い連動して訂正される事項（発行数（国内募集口数）、海外募集口数、発行価額（国内一般募集における発行価額）の総額、海外募集における発行価額の総額、国内一般募集における手取金、海外募集における手取金、国内一般募集と同日付をもって決議された第三者割当による新投資口発行の手取金上限、オーバーアロットメントによる売出しの売出数及びオーバーアロットメントによる売出しの売出価額の総額をいいます。以下同じです。）について、目論見書の訂正事項分の交付に代えて、発行価格等決定日の翌日付の日本経済新聞及び発行価格等の決定に係る有価証券届出書の訂正届出書の提出後から申込期間の末日までの期間中のインターネット上の本投資法人ウェブサイト（〔URL〕<https://enexinfra.com/>）（以下「新聞等」といいます。）において公表します。なお、発行価格等が決定される前に有価証券届出書の記載内容について訂正が行われる場合には、目論見書の訂正事項分が交付されます。また、発行価格等の決定に際し、発行価格等及び発行価格等の決定に伴い連動して訂正される事項以外の記載内容についての訂正が行われる場合には、目論見書の訂正事項分が交付され、新聞等による公表は行いません。
- (注2) 上記仮条件により需要状況等を勘案した上で、2020年11月24日（火）から2020年11月25日（水）までの間のいずれかの日（発行価格等決定日）に国内一般募集における価額（発行価格）を決定し、併せて発行価額（本投資法人が引受人より受け取る本投資口1口当たりの払込金額）を決定します。
- (注3) 後記「(13) 引受け等の概要」に記載のとおり、発行価格と発行価額とは異なります。発行価格の総額と発行価額の総額との差額は、引受人の手取金となります。

＜訂正後＞

1口当たり88,452円

- (注1) 発行価格等（発行価格、発行価額、各引受人の引受投資口数、売価及び引受人の手取金をいいます。以下同じです。）及び発行価格等の決定に伴い連動して訂正される事項（発行数（国内募集口数）、海外募集口数、発行価額（国内一般募集における発行価額）の総額、海外募集における発行価額の総額、国内一般募集における手取金、海外募集における手取金、国内一般募集と同日付をもって決議された第三者割当による新投資口発行の手取金上限、オーバーアロットメントによる売出しの売出数及びオーバーアロットメントによる売出しの売出価額の総額をいいます。以下同じです。）について、2020年11月25日（水）付の日本経済新聞及び本有価証券届出書の訂正届出書の提出後から申込期間の末日までの期間中のインターネット上の本投資法人ウェブサイト（〔URL〕<https://enexinfra.com/>）（以下「新聞等」といいます。）において公表します。
- (注2) 後記「(13) 引受け等の概要」に記載のとおり、発行価格と発行価額とは異なります。発行価格の総額と発行価額の総額との差額は、引受人の手取金となります。
- (注2)の全文削除及び(注3)の番号変更

（１３）【引受け等の概要】

＜訂正前＞

以下に記載する引受人は、2020年11月24日（火）から2020年11月25日（水）までの間のいずれかの日（以下「発行価格等決定日」といいます。）に決定される発行価額（引受価額）にて本投資口の買取引受けを行い、当該発行価額と異なる価額（発行価格）で国内一般募集を行います。引受人は、払込期日に発行価額の総額と同額を本投資法人に払い込むものとし、国内一般募集における発行価格の総額と発行価額の総額との差額は、引受人の手取金とします。本投資法人は、引受人に対して引受手数料を支払いません。

引受人の名称	住所	引受投資口数
SMB C日興証券株式会社	東京都千代田区丸の内三丁目3番1号	<u>未定</u>
みずほ証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目5番1号	
株式会社SBI証券	東京都港区六本木一丁目6番1号	
岡三証券株式会社	東京都中央区日本橋一丁目17番6号	
合 計	—	<u>220,050口</u>

（中略）

(注4) 各引受人の引受投資口数は、発行価格等決定日に決定します。

<訂正後>

以下に記載する引受人は、2020年11月24日（火）（以下「発行価格等決定日」といいます。）に決定された発行価額（引受価額）（1口当たり84,268円）にて本投資口の買取引受けを行い、当該発行価額と異なる価額（発行価格）（1口当たり88,452円）で国内一般募集を行います。引受人は、払込期日に発行価額の総額と同額を本投資法人に払い込むものとし、国内一般募集における発行価格の総額と発行価額の総額との差額は、引受人の手取金（1口当たり4,184円）とします。本投資法人は、引受人に対して引受手数料を支払いません。

引受人の名称	住所	引受投資口数
S M B C 日興証券株式会社	東京都千代田区丸の内三丁目3番1号	<u>144,653口</u>
みずほ証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目5番1号	<u>63,351口</u>
株式会社S B I証券	東京都港区六本木一丁目6番1号	<u>1,583口</u>
岡三証券株式会社	東京都中央区日本橋一丁目17番6号	<u>1,583口</u>
合 計	—	<u>211,170口</u>

（中略）

（注4）の全文削除

（15）【手取金の使途】

<訂正前>

国内一般募集における手取金（20,406,000,000円）については、海外募集における手取金（2,313,000,000円）と併せて、本投資法人が策定した本グリーンファイナンス・フレームワーク（注1）の適格基準（注2）を満たす、後記「第二部 追完情報 2 投資対象 ① 新規取得資産の概要」に記載の本投資法人が取得予定の特定資産（投信法第2条第1項における意味を有します。以下同じです。）（以下「取得予定資産」といいます。）の取得資金の一部に充当する予定です。なお、国内一般募集と同日付をもって決議された第三者割当（詳細については、後記「第5 募集又は売出しに関する特別記載事項 2 オーバーアロットメントによる売出し等について」をご参照ください。）による新投資口発行の手取金上限（1,136,000,000円）については、本投資法人が取得予定資産の取得資金として借り入れた借入金の一部返済、将来の新たな本投資法人が策定した本グリーンファイナンス・フレームワークの適格基準を満たす特定資産の取得資金又は運転資金の全部又は一部に充当する予定です。

（中略）

（注4） 上記の各手取金は、2020年10月28日（水）現在の株式会社東京証券取引所における本投資口の普通取引の終値を基準として算出した見込額です。

<訂正後>

国内一般募集における手取金（17,794,873,560円）については、海外募集における手取金（2,850,786,440円）と併せて、本投資法人が策定した本グリーンファイナンス・フレームワーク（注1）の適格基準（注2）を満たす、後記「第二部 追完情報 2 投資対象 ① 新規取得資産の概要」に記載の本投資法人が取得予定の特定資産（投信法第2条第1項における意味を有します。以下同じです。）（以下「取得予定資産」といいます。）の取得資金の一部に充当する予定です。なお、国内一般募集と同日付をもって決議された第三者割当（詳細については、後記「第5 募集又は売出しに関する特別記載事項 2 オーバーアロットメントによる売出し等について」をご参照ください。）による新投資口発行の手取金上限（1,032,283,000円）については、本投資法人が取得予定資産の取得資金として借り入れた借入金の一部返済、将来の新たな本投資法人が策定した本グリーンファイナンス・フレームワークの適格基準を満たす特定資産の取得資金又は運転資金の全部又は一部に充当する予定です。

（中略）

（注4）の全文削除

2【売出内国投資証券（オーバーアロットメントによる売出し）】

（3）【売出数】

<訂正前>

12,250口

(注) オーバーアロットメントによる売出しは、国内一般募集に当たり、その需要状況等を勘案した上で、国内一般募集とは別に、国内一般募集の事務主幹事会社であるSMB C日興証券株式会社が、伊藤忠エネクス、三井住友信託銀行及びマーキュリアインベストメントからそれぞれ、8,286口、2,899口及び1,065口を上限として借り入れる本投資口（ただし、かかる貸借は、前記「1 募集内国投資証券（引受人の買取引受けによる国内一般募集）」（16）その他⑥に記載のとおり、国内一般募集の対象となる本投資口のうち、5,916口及び1,834口が各指定先にそれぞれ販売されることを条件とします。）の日本国内における売出しです。したがって、上記売出数は、オーバーアロットメントによる売出しの売出数の上限を示したものであり、需要状況等により減少し、又はオーバーアロットメントによる売出しそのものが全く行われない場合があります。

オーバーアロットメントによる売出しに関連する事項については、後記「第5 募集又は売出しに関する特別記載事項 2 オーバーアロットメントによる売出し等について」をご参照ください。

今後、売出数が決定された場合には、発行価格等及び発行価格等の決定に伴い連動して訂正される事項について、目論見書の訂正事項分の交付に代えて、発行価格等決定日の翌日付の日本経済新聞及び発行価格等の決定に係る有価証券届出書の訂正届出書の提出後から申込期間の末日までの期間中のインターネット上の本投資法人ウェブサイト（〔URL〕<https://enexinfra.com/>）（新聞等）において公表します。なお、発行価格等が決定される前に有価証券届出書の記載内容について訂正が行われる場合には、目論見書の訂正事項分が交付されます。また、発行価格等の決定に際し、発行価格等及び発行価格等の決定に伴い連動して訂正される事項以外の記載内容についての訂正が行われる場合には、目論見書の訂正事項分が交付され、新聞等による公表は行いません。

<訂正後>

12,250口

(注) オーバーアロットメントによる売出しは、国内一般募集に当たり、その需要状況等を勘案した結果、国内一般募集とは別に、国内一般募集の事務主幹事会社であるSMB C日興証券株式会社が、伊藤忠エネクス、三井住友信託銀行及びマーキュリアインベストメントからそれぞれ借り入れる本投資口8,286口、2,899口及び1,065口の日本国内における売出しです。

オーバーアロットメントによる売出しに関連する事項については、後記「第5 募集又は売出しに関する特別記載事項 2 オーバーアロットメントによる売出し等について」をご参照ください。

発行価格等及び発行価格等の決定に伴い連動して訂正される事項について、2020年11月25日（水）付の日本経済新聞及び本有価証券届出書の訂正届出書の提出後から申込期間の末日までの期間中のインターネット上の本投資法人ウェブサイト（〔URL〕<https://enexinfra.com/>）（新聞等）において公表します。

（4）【売出価額の総額】

<訂正前>

1,188,000,000円

(注) 売出価額の総額は、2020年10月28日（水）現在の株式会社東京証券取引所における本投資口の普通取引の終値を基準として算出した見込額です。

<訂正後>

1,083,537,000円

(注)の全文削除

（5）【売出価格】

<訂正前>

未定

(注) 売出価格は、前記「1 募集内国投資証券（引受人の買取引受けによる国内一般募集）」（5）発行価格に記載の発行価格と同一の価格とします。

<訂正後>

1口当たり88,452円

(注)の全文削除

第5【募集又は売出しに関する特別記載事項】

1 本邦以外の地域における発行

(2) 海外募集の概要

② 海外募集における発行数（海外募集口数）

<訂正前>

24,950口

(注) 海外募集口数は、今後変更される可能性があります。なお、本募集の総発行数は245,000口であり、国内募集口数220,050口及び海外募集口数24,950口を目途として募集を行います。その最終的な内訳は、需要状況等を勘案した上で発行価格等決定日に決定されます。

<訂正後>

33,830口

(注) 本募集の総発行数は245,000口であり、その内訳は国内募集口数211,170口及び海外募集口数33,830口です。

③ 海外募集における発行価格

<訂正前>

未定

(注1) 前記「第1 内国投資証券（新投資口予約権証券及び投資法人債券を除く。） 1 募集内国投資証券（引受人の買取引受けによる一般募集） (5) 発行価格」の(注1)に記載の仮条件により需要状況等を勘案した上で、発行価格等決定日に海外募集における価額（発行価格）を決定し、併せて海外募集における発行価額（本投資法人が後記「⑤ 海外募集における引受人の名称」に記載の引受人より受け取る本投資口1口当たりの払込金額）を決定します。

(注2) 海外募集における発行価格及び発行価額は、それぞれ前記「第1 内国投資証券（新投資口予約権証券及び投資法人債券を除く。） 1 募集内国投資証券（引受人の買取引受けによる一般募集） (5) 発行価格」に記載の発行価格及び発行価額と同一の価格とします。

<訂正後>

1口当たり88,452円

(注) 海外募集における発行価額（本投資法人が後記「⑤ 海外募集における引受人の名称」に記載の引受人より受け取る本投資口1口当たりの払込金額）は、84,268円です。

(注1)の全文削除及び(注2)の番号削除

④ 海外募集における発行価額の総額

<訂正前>

2,313,000,000円

(注) 海外募集における発行価額の総額は、2020年10月28日（水）現在の株式会社東京証券取引所における本投資口の普通取引の終値を基準として算出した見込額です。なお、本投資法人が既に発行した本投資口及び本募集における本投資口の発行価額の総額の合計額のうち、国内において募集される投資口の発行価額の総額の占める割合は、100分の50を超えるものとします。

<訂正後>

2,850,786,440円

(注)の全文削除

2 オーバーアロットメントによる売出し等について

<訂正前>

国内一般募集に当たり、その需要状況等を勘案した上で、国内一般募集とは別に、国内一般募集の事務主幹事会社であるSMB C日興証券株式会社が、伊藤忠エネクス、三井住友信託銀行及びマーキュリアインベストメントからそれぞれ、8,286口、2,899口及び1,065口を上限として借り入れる本投資口（ただし、かかる貸借は、前記「第1 内国投資証券（新投資口予約権証券及び投資法人債券を除く。） 1 募集内国投資証券（引受人の買取引受けによる国内一般募集） (16) その他 ⑥」に記載のとおり、国内一般募集の対象となる本投資口のうち、5,916口及び1,834口が各指定先にそれぞれ販売されることを条件とします。）の日本国内における売出し（オーバーアロットメントによる売出し）を行う場合があります。オーバーアロットメントによる売出しの売出数は、12,250口を予定していますが、当該売出数は上限の売出数であり、需要状況等により減少し、又はオーバーアロットメントによる売出しそのものが全く行われない場合があります。

（中略）

なお、オーバーアロットメントによる売出しが行われるか否か及びオーバーアロットメント

による売出しが行われる場合の売出数については、発行価格等決定日に決定されます。オーバーアロットメントによる売出しが行われない場合は、SMB C日興証券株式会社による伊藤忠エネクス、三井住友信託銀行及びマーキュリアインベストメントからの本投資口の借入れは行われません。したがって、SMB C日興証券株式会社は、本第三者割当に係る割当てに応じず、申込みを行わないため、失権により本第三者割当における新投資口発行は全く行われません。また、東京証券取引所におけるシンジケートカバー取引も行われません。

(後略)

<訂正後>

国内一般募集に当たり、その需要状況等を勘案した結果、国内一般募集とは別に、国内一般募集の事務主幹事会社であるSMB C日興証券株式会社が、伊藤忠エネクス、三井住友信託銀行及びマーキュリアインベストメントからそれぞれ借り入れる本投資口8,286口、2,899口及び1,065口の日本国内における売出し（オーバーアロットメントによる売出し）を行います。

(中略)

<削除>

(後略)